

民俗学から見た在来野菜の研究

宮崎公立大学人文学部 教授 永松 敦

1、はじめに

このたび、はじめて、「宮崎大学産学・地域連携センター第21回技術・研究発表交流会」に参加させていただきます。人文系の人間は場違いだということを自認しておりますが、長年、民俗学の立場から焼き畑耕作に関わり、近年では、湿原の民俗にも関係したことから、レンコンに興味を持ち始め、各地な農業形態、ならびに、農作物を研究しておりますと、人文科学と自然科学との共同研究の必要性を強く感じるようになりました。

2、宮崎県新富町のレンコン

宮崎県新富町には、江戸時代、秋月高鍋藩が飢餓から民衆を救済するために、大和から持ち込んだとされるレンコンが伝承されている。広大な湖水ケ池にレンコンが栽培されており、その傍らに水沼神社が鎮座している。ここで収穫されるレンコンのことを「水神様のレンコン」と呼ばれ、地元から親しまれている。

新富ではここでレンコンが栽培された理由を次のように伝えている。

高鍋の殿様が自分の城の堀に植えたけれども、うまく根付かず、あちこち植えたところ、この湖水ケ池だけが根付いて、繁殖するようになった。

レンコンを救荒作物、または、薬草として城郭の堀で栽培する例は他にもある。新富のレンコンの特色は、花の色は9割以上が白色で、若干、ピンク色が見られる程度である。形状としては色が白く細いこと。また、冬枯れしたときに花托が残ること。これに対して、中国産のレンコンの場合、冬枯れしたときに、ほとんど花托はほとんど残らない。食感としては、粘りが強いこと。繊維質が強いということなるが、山芋のように長い糸が垂れるのが特色。別名、「糸引きレンコン」と呼ばれる。

関西地方では、河内レンコンが主流である。現在も、大阪府門真市で、門真レンコンの名を継承するため、数件の農家が細々とレンコン栽培を行っている。しかし、冬枯れしたときに、花托が残ることはない。地元では、早くから在来種の地バスは、病気に弱いので、中国産と掛け合わせるなどして姿を消した、と語られている。ただ、河内レンコン生産者に、宮崎県新富町のハスの写真を見せると、「冬枯れした花托の状態は地バスだが、花が白なのはおかしい。在来種ならピンク色が主流のはずだ」と答える。確かに、縄文期のハスのタネから発芽させた大賀ハスの色はピンクである。

さて、新富町のレンコンのルーツを求めて、奈良県を探ったところ、城下で栽培されて

いるものとして、大和郡山市の筒井城跡のレンコンが目にとまった。実際に、冬枯れしたところに行くと、花托が残っている。しかも、花の色は白色だという。現地調査には、宮崎大学名誉教授の足立泰二先生に同行していただき、葉を採取。さらに、南九州大学の陳蘭庄教授のDNA鑑定を依頼した。結果は、宮崎県新富町のレンコンと、奈良県大和郡山市の筒井のレンコンのDNAは3種類の方式で検査したところ、すべて一致することがわかった。

民俗学の伝承から宮崎県のレンコンのルーツを探り当てた結果となった。江戸時代の城郭の堀でレンコンが救荒作物として栽培されていたことから考えると、奈良県下で今も城郭の堀やその周辺で栽培されている筒井城跡のレンコンが宮崎県のものと最も近い存在に当たると考えるのが妥当な線である。

4、おわりに

民俗学からの在来野菜の研究の自然科学系への応用の可能性はまだ存在する。例えば、佐土原ナスと呼ばれる宮崎市がブランド化しようとしている作物がある。しかし、佐土原ナスという名称はいったいどこから名付けられたのか、が問題である。佐土原で栽培されているナスすべてが佐土原ナスなのか、あるいは、特定のDNAを有したナスを指すのか。後者の場合だと、佐土原以外のナスでも同一のDNAを部分的にも有していれば「佐土原ナス」のカテゴリーに含めなければならないことになる。また、DNAを守るために、現在のように他との交雑を避けるために温室栽培をすることが、果たして在来野菜の理想的な継承の姿なのだろうか？在来野菜とは、多くの病害虫にさらされても延命し、DNAを変化させつつも今日まで生き延びてきたところに意味がある。この変化を人為的にストップさせて現状維持の在来野菜を栽培することが、本当の意味で次世代に「在来野菜」を継承することになるのかどうか、真剣に考えなくてはならない時期にきている。

宮崎公立大学民俗学演習では、在来野菜の利用について各地で調査を行っている。その成果は平成27年2月28日(土)に、同大学講堂において発表する予定である。山形県の焼畑の赤カブ利用の映画『よみがえりのレシピ』を上映する。また、夜は、在来野菜による懇親会も計画している(平成26年度 宮崎公立大学学長裁量助成事業「地域在来作物の伝承と活用」)。より多くの方々にお越しをいただきたい。



写真 水沼神社のレンコン (宮崎県新富町)